

資料 ある生徒の進路ノートから

よりよい高校生活を送り、希望する進路を実現するためには、どのような学習あるいは部活動をしたらよいかを考えることが大切である。

学習の仕方、勉強と部活動との両立、交友関係等の不安や悩みの原因を明らかにして、自力で解決する糸口を見出そう。

(1) 中学時代の生活と高校入学後の生活を比較して、次の項目がどのような変わったかをまとめてみよう。

- ・授業Ⅱ進み方が早い。
- ・家庭学習Ⅱ予習に多くの時間がかかる。
- ・部活動Ⅱ楽しい。
- ・余暇の過ごし方Ⅱ友だちと遊ぶことが少なくなった。
- ・生活態度Ⅱさわがないようになった。

(2) 現在の高校生活上の悩みを三つあげなさい。

- ・ねむたい
- ・家での予習がまにあわない。

(3) 君のクラスで多い悩みは何だろうか。クラスの結果を集計してみよう。

- ・学習及び成績
- ・学習と部活の両立
- ・進路関係

(4) 悩みを解決するために、どのようにしているかを話し合ってみよう。

(5) 友人の意見を聞いて参考になったことは何ですか。

自分なりの計画を立てて、一生懸命頑張つて、つまずいたところではできるだけ先生の指導をうけるようにしたい。

(6) 悩みを解決するために、これから自分が心掛けるべきことは何ですか。

自分にあつた学習方法や、生活のしかたなどを見つけ、むりのないような計画をたてる。

試験の前になつて勉強をやるのではなく毎日こつこつとやってみよう。

〈担任より〉

生徒会の副会長は良い経験になることとでしょう。朝の時間を利用しているのは大変良いことです。わからないことがあつたらどんどん職員室に質問に来なさい。先生方も喜びますよ。

〈保護者より〉

生徒会副会長になれたこと、親もびっくりしました。これで行動や考え方が少し変わるのではないかと思えます。子どもの性格から積極性が必要と思つています。

図3 高校生活の充実のために

クラスの充実度や生徒の悩み
(現在、君のクラスは楽しく充実しているか)

	充実している	どちらとも言えない	充実していない
昭和60年	17%	53%	8%
	クラスなどどうでもよい 3%		

(君の現在の悩みは何か)

	健康・家庭	自分の才能
昭和58年	学習について 34%	13%
	6%	12%
	進路について 34%	

(君の現在の悩みは何か)

	友人関係	その他
昭和60年	友人・学校	6%
	成績について 49%	2%
	4%	39%
	進路について 39%	

家庭

程度の学年PTAを開催している。主な資料は次の通りである。「模試結果個人票の活用」「家庭での学習時間と入試結果」「受験と健康管理」など。

(四) 卒業生を囲む会

第一回は昭和六十一年七月に、卒業生四名を招き、就職、進学の二会場を設けて実施した。第二回は昭和六十二年七月に、卒業生五名を招き、大学進学、専門学校、就職の三会場を設けて実施した。

卒業生から現実的な体験談を聞くことができ、生徒にとっては自分の進路を考える上できわめて有意義であつたと思われる。

今後は、もう少し充実した内容にするために、もっと広い範囲から卒業生を招くようにする必要がある。

(五) 保護者の啓発(表3参照)

本校における保護者対象の調査によると、親は子どもの進路や生活態度に関心を持ち、家庭において話し合う機会を持つように心掛けてはいるものの、現実には「子どもの主体性を尊重して」「学校の指導に期待する」など学校依存の傾向が強い。このような保護者の学校依存の考えを捨て去り、家庭の教育力の向上のために、本校では入学式前の保護者オリエンテーション、学年PTA、学級懇談、三者懇談、家庭訪問などを実施しているが、六十一年